

広 報

ふじがわ

町のメモ

昭和62年8月1日現在

人口	16,948人
増減	+12人
男	8,354人
女	8,594人
世帯数	4,416世帯
面積	31.09km ²

8月号 昭和62年8月5日発行

No. 3 1 2

富士川町 総務課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩渕121



音頭にあわせてドドンガドン

(岩渕保育園七夕まつり)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

特集

わたしたちの医療機関

蒲原病院事業の現況は...



蒲原病院の受付と待合室の様子

病院が大乗窪に移転改築してから五年目を迎え、町民の皆さんの医療機関として、医師の充実、医療機器の整備を進めてきました。

現在は医療費の増大に対し、患者の医療費の一部負担の改正など、厳しい医療政策が取られる一方、病気に對しても治療から予防、そして健康管理に力がそがれ、病院としても検診業務の確立などの対処をしています。そこで今月号では、最近の病院の業務内容をお知らせしますが、この機会にこれからの病院のあり方について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

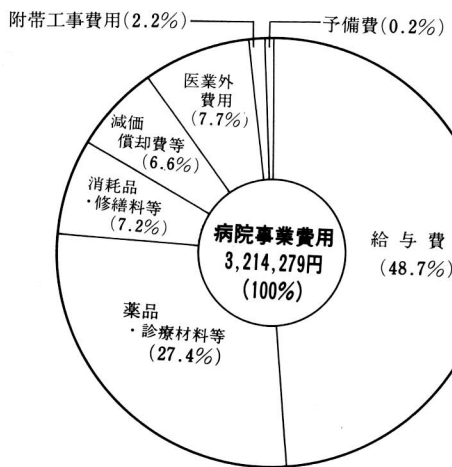
今年の当初予算と利用状況は

昭和六十二年の当初予算は 収入・支出三十二億一千四百二十七万九千円で、医療機器などの施設費を入れると、三十四億六千四百二十二万一千円となっています。

収入は、診療収入が主なものです。昨年度の入院患者は、八八、六六二人（一日平均二五〇人）、外来患者が一五二、八一

支出は、診療のための薬品・材料・建物維持管理などが主なものですが、一番多いのが人件費で、全体の四十八・七割です。

今年予算の内訳



〈病院からのおお願い〉

面会時間の午後一時から午後七時までを守って下さい

蒲原病院の面会時間は、午後一時から七時までです。特に午前中の面会は、注射や医師の回診などで療養のさまたげになります。

また、午後七時以降の面会も安静時間のため、まわりの患者さんに迷惑がかかります。お見舞などの面会時間を、ぜひ守って下さい。

医療の質の向上

今年から新しく、次のような事を実施しています。

▼麻酔科の新設

緊急時の手術等に対処するため、科の新設と麻酔医を採用。

▼呼吸器科の新設

現在、呼吸器疾患は感染症、腫瘍、アレルギー疾患と多岐にわたり、肺腫も胃癌に迫る勢いで増加しているため、専門医師を採用。

▼循環器科の新設

狭心症、心筋梗塞、心筋症、弁膜症、心不全、高血圧性疾患といった心臓の病気を専門的に診断・治療するために、医師を採用。なお、この科を設置するために高度な医療機器を導入。

▼大腸肛門外来の実施

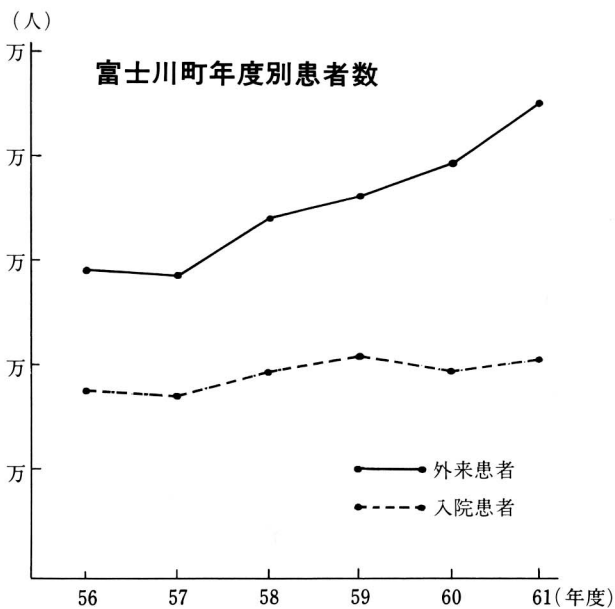
毎月第二木曜日、午後一時から三時まで検査や相談を受けられますが、外科で予約制となっています。

▼不妊外来の実施

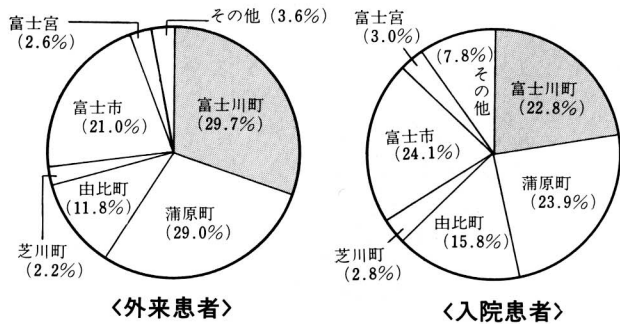
毎週火・木曜日、午前八時三十分から十時三十分まで、不妊に悩む人々を中心に、行っています。

▼肝臓外来の実施

毎週金曜日、午後一時から三時まで、行っています。



市町村別患者数 (昭和61年度)



検診車と検診を受けるみなさん

健康業務の推進

地域の検診など町民の健康管理は、開業医の先生方が積極的に取りこんでいますが、病院でも「健康管理課」を新設し、検診車を走らせ、その一端を担っています。

そこで町でも、病院や開業医の先生との連携を強化し、健康調査書を作成し、それに基づき各健康診断(検診)受検者を把握して、検診の種類・検査項目を検討します。それから年次計

利用者の声

伊藤真理さん (26才) (八幡町)

小児科の検診に時々利用しますが、駐車場が満配なので駐車スペースをもう少し欲しい。産婦人科に入院した時、看護婦さんは、親切でした。望月和雄さん (46才) (上町)

外来の時間を午後二時頃まで伸ばしてもらいたい。診察の始まりが、科によって異なっているので、九時には先生が来て診察できるように態勢になればと思います。佐野新次さん (29才) (富士見町)

産婦人科は、二年ぐらいで先生が変わるので、ローテーションの期間を長くし、同じ先生にみてもらいたい。斉藤大一さん (75才) (富士見町)

もう少し待ち時間がないようにしてほしい。バスで来た時は、一分遅れただけで、一時間も次のバスを待たなければならぬ。診察券を出したらずぐ、カルテを診察室に持っていつてもらいたい。

まちの広場



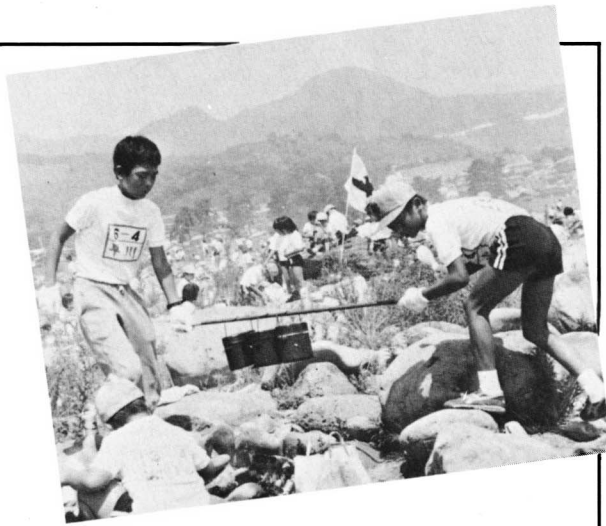
(前列中央)

クラスの友だちに囲まれて

アンドニオス君は、ギリシャで中学生を送って、三カ月間の夏休みを日本で過ごすこと、祖父である旭町の吉川貞一さん方へ里帰りしています。学校では、英語・音楽の授業と一緒に受け、給食をみんなと食べたり、部活で体をきたえました。「これから、富士山に登ったり、京都・奈良へ行つて、古いお寺を見て回りたい」と、りっぱな日本語で話してくれました。

ギリシャからの友だち 一中で体験学習

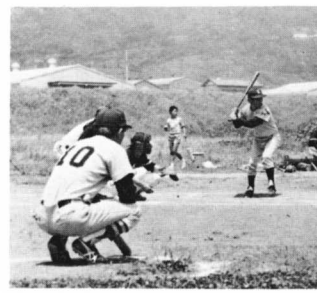
町立第一中学校(松林隆司校長)で、ギリシャから夏休みを利用して里帰りしているアンドニオス君が、六月二十三日(火)から七月二十一日(火)まで一カ月間、体験学習をしました。



富士川の河原も子どもの恰好の遊び場になります

みんなでふれあいの川遊び

七月四日(土)、町立第一小 八百九十人が、富士川の河原で、学校(友田定次校長)の児童 色々な食事を作ったり、川で遊



お父さんがんばって

父親ソフトボール東町・日の出町、富士松野優勝

六月二十八日(日)河川敷スポーツ広場で、町体育協会主催の父親ソフトボール大会が、一小・二小校区に分かれ行なわれました。これは、壮年男子の健康増進、よい人間関係を深めるこ

ふるさと教室で旧東海道探索

町教育委員会主催の富士川地区ふるさと教室で、六月二十八日(日)「郷土の歴史をみなおそう」ということで、中之郷地区をわらじで歩いたりしながらも、地域の理解を深めました。参加したのは小学校三年以上の児童八



昔のことが感じられたかな

新農業委員会委員選出される

選挙による委員 谷津倉辰雄(室野) 箕博巳(堺町) 深澤勲(清水町) 神野茂(富士見町) 二又川登(八幡町) 望月一郎(上町) 浦田益男(新町本町) 望月達弘(宮町) 小川庄三(俣下町) 芦川照光(木島) 影島壽恵雄(南町一) 宇佐美英三(大北町) 選挙によらない委員 常葉雅文(町長) 植松茂(議会議長) 佐野安彦(議会議長) 谷津倉諄吉(農協組合長) 七月二十日から任期は三年

第2回町心身障害(児)者スポーツ大会開催

町身体障害者福祉会(渡辺政志会長)・町手をつなぐ親の会(若月正敏会長)主催の「第二回富士川町心身障害(児)者スポーツ大会」が、七月五日(日)町立第一小学校体育館で行われました。



和やかに各種目に挑戦

この大会は、両会の会員がスポーツを通して親睦や健康増進を目的に、昨年からはじめたものです。大会に参加した八十人の選手は、中之郷・岩瀨・松野の三チームに分かれ、風船送り、宝船リレーなどの

松野児童館まつり

七月十九日(日)、松野児童館で第七回児童館まつりが行なわれました。会場では、手作り人形劇の上演や、母親クラブによるバザーが開催されました。あいにくの雨でしたが千人余りの人で満配となり楽しい一日を過ごしました。



氷もとぶように売れました

んだりしました。

これは家族構成で、兄弟が一人から二人という家庭が全体の六十割を占め、年齢を超えた集団活動の経験が少ないことや、子ども同志で育つという自然性に欠け、「やった」「困った」などの事を体験する機会が少なくなっています。そこで学校では、全校生徒を二十四班に分け「一里塚活動」を実施し、今回のこの活動の一環として「富士川で遊ぶ会」が計画されました。各班では、一年生から六年生まで、それぞれの力を出し合っ、みんなで楽しく食事の計画を綿密に立てました。

当日は真夏のような絶好の天気。パーベキュー用の重たい鉄板をかかえ、三十分も歩いたり、顔中に汗を浮かべ、慣れない手付で火を起こし、みんなで作業を分担し、協力して、ご飯を焚いたり、カレーや焼そばを作りました。焦げたご飯やのびたソーメンでも「うまい、うまい」と言いつつ食べ、みんなの顔は、一つの事を為し遂げたという満足感で一杯でした。食べ終わった後、みんなでゴミを拾い、河原をきれいになりました。

人権擁護委員の 植松・深沢氏表彰される

七月二日(木)、静岡市民文化会館で開かれた「第三十六回県人権擁護委員会定時総会」の席上、長年、人権擁護委員として活躍されている植松良三氏(舟山町)、深沢勇氏(新町本町)が全国人権擁護委員会連合会長表彰を受賞しました。

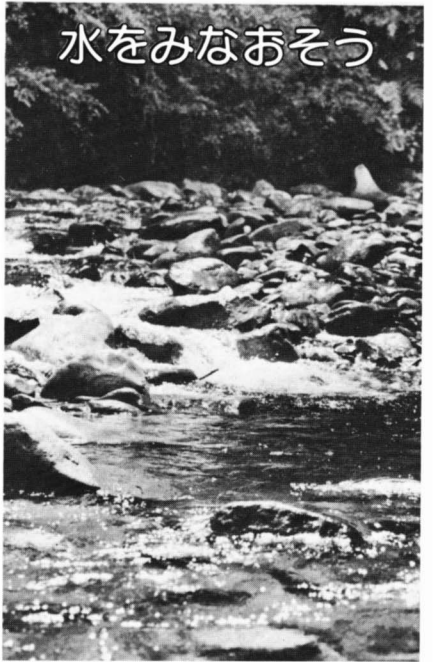
身体障害者相談員決まる

両氏は昭和五十三年人権擁護委員に就任以来十年間に亘り、みなさんの心配事の相談員として尽くされた功績により、今回の表彰となりました。

老人クラブ、感謝状を受彰

老人の奉仕活動推進事業に協力し、多大な成果を挙げた功績により、県老人クラブ連合会会長表彰を受彰しました。

水をみなおそう



水は、宝物

富士川町立第二小学校 六年 佐野うみ乃

「水なんて、タダ、タダ。いくら使っても」「うるさい母さん。水ぐらい出しっぱなしでも平気、平気。そんなにガミガミ怒ることないのに」と、つい先日まで、私は、豊富な水に満足しながら、とても無駄な水の使い方をしていました。そんな自分が、このごろでは「水は宝物」と考えて、大切に使うようになってきました。その理由というか、きっかけが、三つほどあります。

第一に、なんといっても水の値段の高さに驚いたからです。ある日は、水を無駄にする私に黙って、一枚の紙片・水道料金票を見せてくれました。四千二百円と記入されていました。

「水ってこんなにお金をはらうの？母さん」と、私のおこずかいの八倍もの水道料を見て私は、本当にびっくりしました。 「水って、タダじゃなかったんだ。これからは気をつけて、大切に使わなければ」と考えました。ずっと前、先生から言わ

れた「水道はえんぴつのシンぐらいに、チョロ、チョロと少なめに出して使いなさい」という言葉が、急に思い出されました。

第二のきっかけは、たまたまテレビで、高台の土地の水不足で苦しむ人達が、町役場の人に対して、「水をなんとか出るようにしてほしい」と激しく言い寄っている場面を見たからです。真剣に訴えていました。この人たちは、一日に何回もタンクに水をくんで、運んでいました。おふろは、一カ月に一回だけだそうなんです。せんとくも、ためておいてから、まとめて、できるだけ少しの水で洗うようにしているということでした。そのほか食事などの生活も、大変困っているようでした。私の町・富士川町では、きれいな水が豊かに出るので、この高台に住む人たちに、少しでもわけてあげたくまりました。そして、ふと「私が水を大切にすれば、その分、余った水が、高台の人達など水不足で困っている人たちの所までめぐっていくかもしれない」と思えてきて、水を粗

末に使わないように気をつけているのです。

水を大切にしようになった第三の理由は、友だちと「世の中で大切な物は」について話し合った時、私はなぜかその時、水が一番大切なんだと思ったからです。その時、空気が、お金・太陽・地球……などが、大事なものが並びましたが、私は水が無いと、苦しくていやだなと思いました。

以上のような三つのきっかけで、このごろの私は水を、だいぶ粗末にしないようになってきたと思います。その分が水不足の人々へ回っていったらいいのにと思っています。「水は宝物よ。うみ乃もやっつと、水を大切にしようになつてきて、えらいね」という母のひと言を大切にしています。



末に使わないように気をつけているのです。

水を大切にしようになった

第三の理由は、友だちと「世の中で大切な物は」について話し

合った時、私はなぜかその時、水が一番大切なんだと思ったか

からです。その時、空気が、お金・

太陽・地球……などが、大事なも

のが並びましたが、私は水が無い

いと、苦しくていやだなと思い

ました。

以上のような三つのきっかけ

で、このごろの私は水を、だ

いぶん粗末にしないようになって

きたと思います。その分が水不足

の人々へ回っていったらいいの

のと思っています。「水は宝物よ。

うみ乃もやっつと、水を大切にす

るようになつてきて、えらいね

」という母のひと言を大切にす

ています。

「水の週間」の作文コン

クールで県教育長賞を受賞

ますし、テレビでも紹介され

ます。 こうした全国版の観光行

事になった盆踊りもあります

が、各地それぞれの盆踊りも

最近ますます盛んです。企

業が月遅れのお盆（八月十三

日〜十五日）を中心に集中的

に夏期休暇を設けるようにな

つたことも一因のようです。この時期、都会に就職した人たちが帰郷し、盆踊りが旧交を温める場となっているのです。

一方、都会の団地やニュー

タウンの盆踊りも各地で行わ

れるようになりました。故郷

のない都会の二世、三世が増

えるにつれ、こうした行事が

ますます喜ばれるようになる



盆踊りの中でも有名なのが四国の阿波踊りです。これは全国から参加者が集まってくる

盆踊り

盆踊りは老若男女が楽しめるレジャーとしてトップ・クラスのものではないでしょうか。本来、盆踊りはお盆に精霊を迎える宗教行事ですが、最近はおもつと広く夏の行事として楽しまれています。もつとも、盆踊りは仏教渡来以前から民俗芸能として各地で行われていたという説もあります。

盆踊りの中でも有名なのが四国の阿波踊りです。これは全国から参加者が集まってくる

ますし、テレビでも紹介され

ます。 こうした全国版の観光行

事になった盆踊りもあります

が、各地それぞれの盆踊りも

最近ますます盛んです。企

業が月遅れのお盆（八月十三

日〜十五日）を中心に集中的

に夏期休暇を設けるようにな

つたことも一因のようです。この時期、都会に就職

した人たちが帰郷し、盆踊りが

旧交を温める場となっている

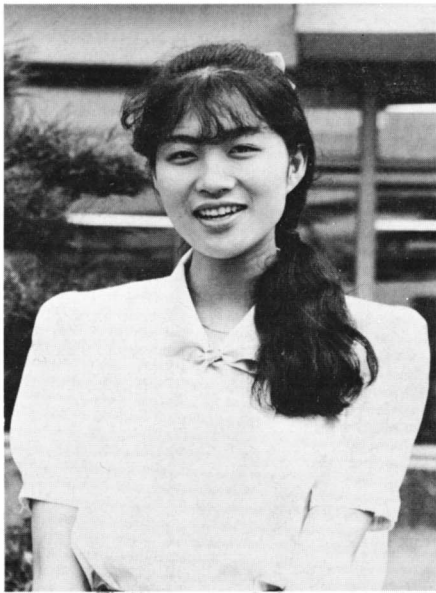
のです。

マドンナ紹介

前島和代さん (21才)

(相生町)

イハラケミカル株式会社勤務



前島さんは短大を卒業して入社し、今年で二年目のフレッシュウーマンです。初恋は小学校五年生の時。相手は同級生の男の子。しかし、自分の心の中で想っているだけで、一言も話すことなく、片思いで、儂く終わりました。女子大生時代は一生懸命、勉強する一方、ディスコに行ったり、友だちと旅行をしたり、有意義に学生生活をエンジョイした。一番印象に残っているのは、仲よし三人組で沖繩に旅行し、青い海と空、そして白いサンゴ礁の自然の優雅さを堪能できたこと。「将来、いつでも平穏な家庭を築き、親子で買い物したり、動物園などを歩いてみたい。この夏はハワイに行つて、大胆な水着でワイキキビーチを歩いてみたい……（なんちゃって）」と茶目化たつぶりに話してくれました。



7月の交通事故

人身事故	6件(4)	合計	12件(8)
物損事故	6件(4)		
富士川身延線	5件(5)		
国道一号线	4件(0)		
町道	3件(2)		
県道	0件(1)		
その他	0件(0)		

()は昨年

戸籍の窓

S 62・6・15〜7・14届出分

おめでた (敬称略)

宮町	菅谷 悟	義孝	長男
小池	大塚 未沙希	甲子郎	長女
大栗窪	志賀 充	元	長男
大栗窪	山田 祐平	隆	長男
相生町	齋藤 安彦	仁	二男
相生町	計彦	二男	二男
舟山町	望月 明子	二女	二女
堺町	若月 久実子	哲夫	長女
新町	大石 晋平	安英	二男
東町二	塩坂 百恵	明裕	長女
東町二	城田 景太	尚幸	二男
富士見町	佐野 夏希	新次	長女
本通一	泉 武尊	昭宏	二男
東町二	堀 裕	明裕	長女
東町二	堀 裕	明裕	長女
大北町	吉田 好一		七六

かなしみ

八幡町	天野 翔太	道夫	長男
八幡町	望月 亜美	康雄	二女
俣下町	高岡 健介	英二	長男
区名	氏名	年齢	
本通一	池上 ちえ	八五	
東町一	田中 運平	六六	
日の出町	石川 昭義	五九	
南町二	小澤 千代子	八一	
八幡町	望月 サカエ	七九	
清水町	望月 カメヨ	七九	
大北町	吉田 好一	七六	

お母さんの

知恵袋

頭のよくなる食事

子どもに限らず大人でも、日本人が不足しがちなのは、カルシウムです。このカルシウムが多く含まれている野菜類、豆類、海藻類を食べることで、骨が成長し丈夫になる。特にカルシウムの多い牛乳は、良品の蛋白質が多く含まれています。この牛乳の中に、必須アミノ酸が多く含まれ、このアミノ酸類によって、人体の組織(脳細胞)が作られているのです。

骨のカルシウム分は、少しづつ溶けて排泄されるから、カルシウムの多い食べものによって補う必要がある。それが牛乳であり、わかめであり、小魚を骨ごと食べることであります。なお、カルシウムは血液の中にも各臓器の中にも必要であり、特に血液の中のカルシウムは、酸を中和したり、出血の際に血液を凝固させる役割を果たし、他に神経の働きや反応を調節したりもする。従ってカルシウム不足は、発育を妨げ、体調がくずれることになります。

婦人会(角替)



七月詠草(天野寛選)

本通一 望月 録
百合香る可睡の緑の山に居て浄土に遊ぶわが自在心

小池 中川しな子
檜育ちて下草の場狭むるも踏む吾が足の老いを拒まず

相生町 藤沼 満
すれちがう人定かならねど眼のあしき我は会釈し散步道ゆく

南町一 佐野 節子
花の季訪ひ行くと約したる友は三崎の養老院に入る

本通三 桐谷 静子
万緑のまっただ中をそぞろゆく緑の張りに包まれにつつ

小池 土橋 節子
梅雨空に芝生の雑草抜きつつもじづり草三本残し置きたり

舟山町 望月 八代
戦没の君法要の墓碑の丘ほたる袋のほぐれ初めあつ

四十九町 村山 越子
雨戸繰れば朝の光と金柑の花の甘き香共に入り来る

相生町 望月 侑子
庄屋屋敷に目にふれて古き数々に育ちし家を母を偲へり

六月号で、上野みつ子さんを望月晴子さんとして掲載しました。深くおわびして訂正させていただきます。

一里塚



私は交流職員として、今年の四月より富士川町役場に勤務しております。

富士川町は、野田山からの眺望を初め、景勝地が多く、自然環境にも恵まれていると聞いております。

七月初旬「ホテルを見に出かけたかったので案内してくれないか」との電話が入り、少々戸惑いました。それは、芝川町に住んでいる私も、年一・二回しか見かけないからです。幸いな事に、役場のある人にホテルの情

報を聞くことが出来たので、さつそく出かけてみました。民家のすぐ近くでしたが、しばらく水田の方向を見ていると、暗闇に目が慣れるにつれ、つぎつぎにホテルの小さな光が目飛び込んできた。中には、初めてホテルを手にしたという人もいました。結局、六人で三十四程捕り、富士川町の清流と自然に感謝し、帰路につきました。

ところで近年、中・小の河川改修が進み、特に小断面の河川は、技術・経済的な理由により、三面張りの構造が標準となり、施工されております。今回、ホテル捕りに出かけた付近の河川は、自然に「心くばり」をし、

河床をコンクリート張りとして、土砂を埋め戻し、沢の形態に近づけようとしたことを思い出しました。とかく機能を重視しがちな行政ではありますが、自然に「心くばり」したこの川でホテルの幼虫が育ち、来年も趣のある光を放つてくれることを、期待しております。(清利之)

社会福祉事業寄付金(敬称略)

S 62・6・2〜6・15	十三万円	明るい社会づくり運動富士川支部
S 61・6・21〜7・15	三万円	望月 敏男(相生町)
		善意銀行へ寄託(敬称略)
	千二百円	ひまわり地蔵(新町)